

インド初となる国家的デザイン賞が創設

日本のグッドデザイン賞をモデルとする「India Design Mark」開始

日本唯一の総合的デザインプロモーション機関である公益財団法人日本デザイン振興会は、2010年4月にインド商務産業省の関係機関であるインドデザインカウンシル 注1 と、インド国内でのデザイン賞創立に関する連携協定を締結以来、主催事業であるグッドデザイン賞 (Gマーク 注2) をモデルとした新たなデザイン賞の立ち上げを支援してきました。

去る1月12日に、インドデザインカウンシルによりデザイン賞India Design Mark (I Mark) の創立が発表され、同日付で応募の受付が始められました。これにより、インド国内で初となる国家的なデザイン政策の一翼を担うデザイン賞が開始されることになりました。

日本デザイン振興会では、これまでアジアにおけるデザイン施策の普及・育成に取り組む一環として、グッドデザイン賞の事業理念や運営手法を活用した各国との連携に着手してきました。2007年にはタイ王国政府商務省から依頼を受けて「Design Excellence Award」の創設に協力し、日本とタイの間で審査と受賞展示会の相互開催、人材交流などを進めています。India Design Markは、このような連携により創設されたアジアのデザイン賞として2例目となります。

India Design Markは、よいデザインの基準を明確に示すことで、インドの産業全体を向上させるとともに、デザインの重要性に関する社会的な認知を高めていくことを主な目的に実施されるデザイン賞です。おもにインドの企業やインドに登録された外国企業によって、インド国内で生産された製品などが応募の対象となるため、インド国内企業の発展はもとより、インドでビジネスを展開する日本企業などにとっても、デザインを通じた市場の拡大やブランド構築の効果などが期待されています。



India Design Mark (I Mark)

India Design Mark 開始までの経緯

近年、国際的な経済の低成長基調が顕著となる中で、インド経済は例外的に高い伸びを達成してきました。そのような状況において、インドではデザインに対する認識が高まり、2007年にはインド政府により包括的なデザイン政策に関する発表がおこなわれました。この中では、「デザインによるクオリティ・オブ・ライフの向上」が目標として示されました。インドではなおも、教育や保健・輸送などのインフラストラクチャー整備に遅れがあり、貧困や犯罪・公害などの問題も顕在しています。それら社会的課題の解決に向けた取り組みや、特に製造業の発展がもたらす雇用の創出など、デザインを用いることによる生活改善や、産業競争力のさらなる向上に貢献するものとして、新たなデザイン賞の創設が重要なテーマとされました。

※ ロゴマークなどのビジュアルデータをご用意しています。下記担当までお問い合わせください。

一般からのお問い合わせ先 公益財団法人 日本デザイン振興会 広報担当
電話：03-6743-3777 press@jidp.org

報道関係のお問い合わせ先 株式会社オズマビーアール 担当: 木村、近江、鈴木
電話：03-3403-0283 FAX：03-3403-0289

日本デザイン振興会との連携に至る経緯

インドでは自動車に代表されるいくつかの製品分野で日本企業の進出が進み、すでにその長所が広く認められていることに加え、特に都市部における空間の効率的な活用や、環境に配慮した高機能製品の開発などインド国内で今後高まると予想されるニーズに対する提案性の点でも、日本に対する期待が高いことが前提にありました。

さらに、グッドデザイン賞が長年にわたり築いてきた「生活を豊かにするデザイン」という視点に基づいたデザイン普及の仕組みは、デザインを通じてクオリティ・オブ・ライフを高めるというインド側の理念に合致するものであり、新たなデザイン賞の創設におけるベンチマークとして支持されました。

このような状況を背景に、2010年4月のインドデザインカウンシルとの連携開始以来、日本デザイン振興会ではインドからの視察団の受け入れや、当会理事の訪印など相互交流を重ねてきました。また、経済産業省と共同でデリーにおけるグッドデザイン賞受賞製品の展示会を開催（2011年3月）するなど、India Design Markの開始に向けた諸準備を進めてきました。



インドデザインカウンシルとの連携協定を締結
(2011年3月)

India Design Mark 実施内容（予定）

- スケジュール**
- 応募受付（ウェブサイトにて）：2012年1月12日～2月29日
 - 一次審査結果通知：4月9日
 - 二次審査会：5月4日
 - India Design Mark Exhibition 開催（一般公開のフェア）：5月5日～6日
 - 受賞対象公開（ウェブサイトにて）：5月30日

応募対象の条件

- ・インドの企業もしくはインド国内で登録されている外国企業による製品で、インド国内または国外の市場向けに、インド国内で生産されたもの。
- ・インドのデザイナーもしくはインド国内で登録されている外国のデザイン会社がデザインを手がけたもの。
- ・2010年1月1日～2011年12月31日までに発売された完成品。

応募対象

- ・家庭用品（家電製品、パーソナルコンピューター、生活雑貨、家具、衣料品、アクセサリ、工芸品など）
- ・産業用品（産業機械、作業用具、乗用車、オフィス用家具、コミュニケーション機器、店舗用品、パッケージなど）
- ・レクリエーション用品（スポーツ用品、健康器具、レジャー用品、オーディオ機器、美術用品など）
- ・公共福祉用品（公共交通機関、教育用品、教育システム、医療機器など）

India Design Mark ウェブサイト（応募受付ページ） <http://indiadesignmark.in/>

注1: インドデザインカウンシルについて

インド商務産業省 (Ministry of Commerce and Industry) の関連組織として、インドの国家的なデザイン政策に基づいた各事業の推進を担う。構成員として、インド政府関係者や国立のデザイン学校である National Institute of Design をはじめとするインドのデザイン教育関係者、インド国内の著名なデザイナー・デザイン会社経営者など30名を擁する。



注2: グッドデザイン賞について

日本を代表するデザインの評価・推奨の運動として、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する世界的なデザイン賞。国内外の企業やデザイナーなどが参加して毎年開催され、製品・建築・ソフトウェア・デザインを活用したプロジェクトなど幅広い対象に贈られる。1957年の事業開始以来、受賞件数は38,000件以上にのぼる。

